

製品名: オクルディン (10Z10) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe15092**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	59kDa

抗原情報

遺伝子名	OCLN
別名	OCLN; Occludin; BLCPMG;
遺伝子 ID	100506658.0
SwissProt ID	Q16625
免疫原	ヒトオクルディンの組み換えタンパク質

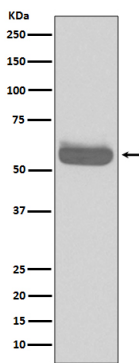
背景

タイトジャンクション (TJ) 傍細胞透過性バリアの形成と調節に関与する可能性がある。タイトジャンクションを欠損した細胞で発現した場合、接着を誘導することができる。タイトジャンクション (TJ) 傍細胞透過性バリアの形成と調節に関与する可能性がある。タイトジャンクションを欠損した細胞で発現した場合、接着を誘導することができる。

研究分野

-

画像データ



HepG2 細胞溶解物中の Occludin 発現のウェスタン プロット分析。